

石上げ祭り

石上げ祭りの起源は諸説あるが、約 170 年程前の江戸時代、天保 7 年（1836 年）「天保の大飢饉」の翌年から盛大になったとされます。8 月の第 1 日曜日に行われ、対象の石を尾張富士の山頂（標高 277 メートル）に運びます。

祭りの由来は、その昔、ある者が尾張富士に登り願い事を石に記して願いごとをしたとき、その夢に「木花開耶姫命（このはなさくやひめのみこと）」が現れ、尾張富士が隣の本宮山より低いことをとても嘆きました。そこでその者は、木曾川の清浄な石を拾い上げ、山頂に積み上げたところ不思議にも願いが叶ったのです。そのことが村から村へと伝わり、相次いで大石を奉納して富貴長命、子孫繁栄、五穀豊穰を祈願したのが石上げ祭りの始まりであります。